



Better Health, Brighter Future

会社名 武田薬品工業株式会社

代表者 代表取締役社長 CEO クリストフ・ウェバー

(コード番号 4502 東証プライム市場)

報道関係問合せ先 グローバル コーポレート アフェアーズ

完戸 綾 070-2819-9041

E-mail: aya.shishido@takeda.com

## News Release

2026年3月26日

### 第150回定時株主総会に提案する取締役候補者および代表取締役の異動について

武田薬品工業株式会社(TSE:4502/NYSE:TAK)は、2026年6月24日に開催予定の第150回定時株主総会に提案する社内および独立社外取締役候補者について、本日開催の取締役会において決定しましたのでお知らせします。

当社が既に公表<sup>1</sup>している代表取締役の交代に係る次なるステップとして、来たる定時株主総会において、次期CEOであるジュリー・キムを新任取締役候補者として提案する予定です。承認された場合、取締役会はキム氏を、定時株主総会終了後、直ちに代表取締役社長CEOに任命する予定です。現代表取締役社長CEOであるクリストフ・ウェバーは、同日付で当社および当社取締役会を退任する予定です。<sup>2</sup>

新任の社外取締役候補者であるブルース・ブルサード氏、木村 浩一郎氏およびポール・ストフェルス氏は、承認された場合、6月24日付で当社取締役会に加わります。ジャン=リュック・ブテル氏、イアン・クラーク氏、藤森 義明氏、初川 浩司氏、東 恵美子氏およびミシェル・オーシングー氏は、同日付で当社社外取締役を退任する予定です。

その他の現任取締役は全員、再任を提案する予定です。

当社の取締役会議長および指名委員会委員長の飯島 彰己氏は、「タケダの取締役会を代表して、退任される6名の社外取締役の皆さまに、過去10年ほどの間にわたるタケダへの多大なご尽力と計り知れない貢献に対し、心より感謝の意を表したいと思えます。クリストフに加え、今回退任される社外取締役の皆さまのリーダーシップは、タケダが新たな成長段階へと変革を遂げるうえでなくてはならないものでした。また、新任取締役候補として、木村 浩一郎氏、ブルース・ブルサード氏およびポール・ストフェルス氏をお迎えできることを嬉しく思います。タケダが次なる時代へと前進する中、豊かなご経験を有する新任取締役候補の皆さまは、タケダの変革期においてより強固な支えとなり、取締役会の監督機能や助言機能の強化に大きく貢献していただけるものと確信しています。取締役会は、タケダの未来に大いに期待しており、ジュリーと緊密に連携しながら、円滑かつ適切なガバナンスの下でCEO交代を確実なものとし、長期的な成長に向けた規律ある事業運営を支えられることを楽しみにしています」と述べています。

<sup>1</sup> 2025年1月30日に公表しましたプレスリリース「ジュリー・キムが2026年6月にクリストフ・ウェバーの後任として就任」をご覧ください。

<sup>2</sup> ジュリー・キムの略歴については添付を参照ください。

## 新任の社外取締役候補者について

ブルース・ブルサード氏は、現在、HP 社の暫定 CEO を務めています。同氏は、30 年以上にわたり上場企業でリーダーシップを発揮してきた経験豊富な役員経験者であり、直近では米国において保険およびヘルスケアサービスを提供する大手上場ヘルスケア企業である Humana 社の社長兼 CEO を 10 年以上務めました。同氏は、大規模なグローバル企業における経営トップとしての豊富な経験および国際的な経営管理の経験を有しており、Humana 社および US Oncology 社での経歴を通じて、ヘルスケアおよびヘルスケアテクノロジー分野における高い専門性も有しています。加えて、同氏は他の上場企業での取締役および委員会メンバーを歴任しており、上場企業のコーポレート・ガバナンスに関する知見も有しています。

木村 浩一郎氏は、現在、ユーラシア・グループのシニアアドバイザーとして、高まる地政学的な複雑性への対応について、日本企業を支援しています。同氏は、PwC Japan グループにおいて数十年にわたりキャリアを重ね、同社のグループ代表を 8 年間務めるとともに、5 年にわたり PwC アジアパシフィック バイスチェアマンを兼務しました。PwC での職務に加え、経済同友会において 10 年にわたり幹事などの要職を務めてきたほか、東京大学公共政策大学院や財団法人財務会計基準機構など、さまざまな公的機関や業界団体においてアドバイザーの役割を担ってきました。

ポール・ストフェルス氏は、Galapagos 社の共同創業者、前 CEO および取締役会議長であり、現在は同社のアドバイザーとして、オンコロジー（がん）および免疫領域における新規治療法および製造プラットフォームの開発を主導しています。過去には、ジョンソン・エンド・ジョンソン社の最高科学責任者 (CSO) として、全社的なイノベーション戦略を策定し、グローバルな医薬品研究開発を主導するとともに、革新的なヘルスケアソリューションの創出・開発に向けてチームを率いました。ジョンソン・エンド・ジョンソン社のファーマシューティカルズ (医療用医薬品) 部門のワールドワイド・チェアマンとして、製品パイプラインの大幅な刷新と革新的な研究開発のオペレーティングモデルの導入を推進し、その結果、オンコロジー（がん）領域の 10 製品を含む 25 の革新的な医薬品をグローバルに上市しました。

## 監査等委員でない取締役の候補者

氏名	区分	役職(予定)
ジュリー・キム	社内 / 新任	代表取締役 社長 CEO
古田 未来乃	社内 / 再任	取締役 チーフ フィナンシャル オフィサー
アンドリュー・プランプ	社内 / 再任	取締役 リサーチ & デベロップメント プレジデント
飯島 彰己	社外 / 再任	社外取締役 取締役会議長
スティーブン・ギリス	社外 / 再任	社外取締役
ジョン・マラガノ	社外 / 再任	社外取締役
津坂 美樹	社外 / 再任	社外取締役
ポール・ストフェルス*	社外 / 新任	社外取締役

監査等委員でない取締役の任期は1年です。

\* ポール・ストフェルス氏は、補欠の監査等委員である取締役候補者でもあり、第 150 回定時株主総会にて提案されます。

## 監査等委員である取締役の候補者

氏名	区分	役職(予定)
キンバリー・リード	社外 / 再任	社外取締役 監査等委員
ブルース・ブルサード	社外 / 新任	社外取締役 監査等委員
木村 浩一郎	社外 / 新任	社外取締役 監査等委員

監査等委員である取締役の任期は2年です。

注記:

- 役職については、第150回定時株主総会後に執り行う取締役会・監査等委員会で決定する予定です。
- 指名委員会および報酬委員会の委員については、第150回定時株主総会後に執り行う取締役会での協議を経て決定する予定です。

## <武田薬品について>

武田薬品工業株式会社(TSE:4502/NYSE:TAK)は、世界中の人々の健康と、輝かしい未来に貢献することを目指しています。消化器系・炎症性疾患、希少疾患、血漿分画製剤、オンコロジー(がん)、ニューロサイエンス(神経精神疾患)、ワクチンといった主要な疾患領域および事業分野において、革新的な医薬品の創出に向けて取り組んでいます。パートナーとともに、強固かつ多様なパイプラインを構築することで新たな治療選択肢をお届けし、患者さんの生活の質の向上に貢献できるよう活動しています。武田薬品は、日本に本社を置き、自らの企業理念に基づき患者さんを中心に考えるというバリュー(価値観)を根幹とする、研究開発型のバイオ医薬品のリーディングカンパニーです。2世紀以上にわたり形作られてきた価値観に基づき、社会における存在意義(パーパス)を果たすため、約80の国と地域で活動しています。詳細については、<https://www.takeda.com/jp/>をご覧ください。

## <重要な注意事項>

本注意事項において、「ニュースリリース」とは、本ニュースリリースに関して武田薬品工業株式会社(以下、「武田薬品」)によって説明又は配布された本書類並びに一切の口頭のプレゼンテーション、質疑応答及び書面又は口頭の資料を意味します。本ニュースリリース(それに関する口頭の説明及び質疑応答を含みます)は、いかなる法域においても、いかなる有価証券の購入、取得、申込み、交換、売却その他の処分の提案、案内若しくは勧誘又はいかなる投票若しくは承認の勧誘のいずれの一部を構成、表明又は形成するものではなく、またこれを行うことを意図しておりません。本ニュースリリースにより株式又は有価証券の募集を公に行うものではありません。米国1933年証券法の登録又は登録免除の要件に基づいて行うものを除き、米国において有価証券の募集は行われません。本ニュースリリースは、(投資、取得、処分その他の取引の検討のためではなく)情報提供のみを目的として受領者により使用されるという条件の下で(受領者に対して提供される追加情報と共に)提供されております。当該制限を遵守しなかった場合には、適用のある証券法違反となる可能性があります。

武田薬品が直接的に、又は間接的に投資している会社は別々の会社になります。本ニュースリリースにおいて、「武田薬品」という用語は、武田薬品及びその子会社全般を参照するものとして便宜上使われていることがあり得ます。同様に、「当社(we, us 及び our)」という用語は、子会社全般又はそ

ここで勤務する者を参照していることもあり得ます。これらの用語は、特定の会社を明らかにすることが有益な目的を与えない場合に用いられることもあり得ます。

本ニュースリリースに記載されている製品名は、武田薬品又は各所有者の商標又は登録商標です。

### <将来に関する見通し情報>

本ニュースリリースに関して配布された資料には、武田薬品の見積もり、予測、目標及び計画を含む武田薬品の将来の事業、将来のポジション及び業績に関する将来見通し情報、理念又は見解が含まれています。将来見通し情報は、「目標にする(targets)」、「計画する(plans)」、「信じる(believes)」、「望む(hopes)」、「継続する(continues)」、「期待する(expects)」、「めざす(aims)」、「意図する(intends)」、「確実にする(ensures)」、「だろう(will)」、「かもしれない(may)」、「すべきであろう(should)」、「であろう(would)」、「かもしれない(could)」、「予想される(anticipates)」、「見込む(estimates)」、「予想する(projects)」、「予測する(forecasts)」、「見通し(outlook)」などの用語若しくは同様の表現又はそれらの否定表現を含むことが多いですが、それに限られるものではありません。これら将来見通し情報は、多くの重要な要因に関する前提に基づいており、実際の結果は、将来見通し情報において明示又は暗示された将来の結果とは大きく異なる可能性があります。その重要な要因には、日本及び米国の一般的な経済条件並びに国際貿易関係に関する状況を含む武田薬品のグローバルな事業を取り巻く経済状況、競合製品の出現と開発、薬価、税金、関税その他の貿易関連規則を含む関連法規の変更、臨床的成功及び規制当局による判断とその時期の不確実性を含む新製品開発に内在する困難、新製品及び既存製品の商業的成功の不確実性、製造における困難又は遅延、金利及び為替の変動、市場で販売された製品又は候補製品の安全性又は有効性に関するクレーム又は懸念、新規コロナウイルス・パンデミックのような健康危機、温室効果ガス排出量の削減又はその他環境目標の達成を可能にする武田薬品の環境・サステナビリティに対する取り組みの成功、人工知能(AI)を含むデジタル技術の統合をはじめとする、業務効率化、生産性向上又はコスト削減に向けた武田薬品の取り組み、その他の事業再編に向けた取り組みが、期待されるベネフィットに寄与する程度、武田薬品のウェブサイト(<https://www.takeda.com/jp/investors/sec-filings-and-security-reports/>)又は [www.sec.gov](http://www.sec.gov) において閲覧可能な米国証券取引委員会に提出した Form 20-F による最新の年次報告書並びに武田薬品の他の報告書において特定されたその他の要因が含まれます。武田薬品は、法律や証券取引所の規則により要請される場合を除き、本ニュースリリースに含まれる、又は武田薬品が提示するいかなる将来見通し情報を更新する義務を負うものではありません。過去の実績は将来の経営結果の指針とはならず、また、本ニュースリリースにおける武田薬品の経営結果及び情報は武田薬品の将来の経営結果を示すものではなく、また、その予測、予想、保証又は見積もりではありません。

以上

(添付)

2025年1月30日公表のプレスリリース「ジュリー・キムが2026年6月にクリストフ・ウェバーの後任として就任」の添付資料から更新しています。

1. 対象となる代表取締役の氏名および役職名

氏名	新役職名(予定)	現役職名
ジュリー・キム	代表取締役 社長 CEO*	次期 CEO
クリストフ・ウェバー	退任	代表取締役 社長 CEO

\* 2026年6月24日に開催される第150回定時株主総会および取締役会における選任と任命を条件としております。

2. 新任代表取締役の略歴等

生年月日	略歴	所有 ADS 数*
1970年6月6日	2016年6月 シャイアー社入社 2016年6月 インターナショナル バリューデモンストレーション&アクセスヘッド 2018年8月 グローバル ヘマトロジーフランチャイズヘッド 2019年1月 当社入社 2019年1月 プラズマ デライブド セラピーズ ビジネスユニット プレジデント 2022年4月 U.S. ビジネスユニットプレジデントおよび U.S. カントリーヘッド 2025年8月 U.S. ビジネスユニットプレジデント、U.S. カントリーヘッドおよびグローバル ポートフォリオ デイビジョン インテリム ヘッド 2025年9月 Takeda Pharmaceuticals U.S.A., Inc. 取締役 CEO(現任) 2025年11月 グローバル ポートフォリオ デイビジョン インテリム ヘッド 2026年1月 次期 CEO(現任)	173,773 ADS

\* 本報告日において当社普通株式は所有していません。

3. 異動・役職変更予定日

2026年6月24日